

10月 ひよこぐみだより



尚徳福祉会 とちょう保育園

澄みきった青空がどこまでも続き、思わず大きく背伸びをしてみたいくなる季節です。日中は過ごしやすく心地良いですが、朝夕はめっきり涼しい日もありますので、体調管理には十分に気をつけていきたいですね。秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋、収穫の秋・・・いろいろありますが、実り多いこの時期を子どもたちと共に充実して過ごしたいと思います。



10月の保育目標

○秋の自然を感じながら、保育士と一緒に戸外活動を楽しむ。

天気の良い日は中央公園にお散歩に出かけます。子どもたちはお外遊びが大好き。たくさん体を動かしながら、黄や赤に色づき始めた葉っぱやどんぐりなどを見て一緒に秋を感じたいと思います。

○いろいろな姿勢の変化や、様々な運動機能を使って、体を動かすことを楽しむ。

子どもたちは、歩行やつかまり立ち、ハイハイ、ずりばいなどを楽しんだり、好奇心いっぱいに興味のある方向へ移動していきます。同じ景色でも座ってみると、立ってみると寝転んでみるのではずいぶん違って見えるでしょう。自分の体を使っていろんな姿勢をしたり、そこから見える景色を存分に楽しみたいと思います。



10月11日(月)～18日(月)はひよこ組の保育参観・面談があります。短い時間ですが、日頃のお子様のご様子を参観していただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

じぶんで・の芽生え・大切に

○お散歩に出るとき、春は靴下を履かせてもらうのをじっと見ている子がほとんどでしたが、今は自分で靴下を選んだり、靴下を持って足のところに持っていきこうとする姿がみられるようになりました。

○ある日のメニューはA君の大好きな納豆ごはん。保育士が「あーん」とすると首を振って食べません。あれ?と様子を見てみると、自分でリングスプーンを持って食べ始めました。「自分で食べたかったんだね」と気持ちを認めてもらうとA君はにこっと笑って残さず食べることができました。

○最近は、食事の前に自ら洗面台まで行き、石鹸がついた手を自分でごしごしする姿がみられます。仕上げは保育士が行なっていますが、手洗いが身についていることに成長を感じます。

・・・こんな風に、一歳前後の今の時期、「じぶんで」やってみたい気持ちが少しずつ芽生えてきています。大人がやってしまえば時間もかからず汚れず・・・忙しいとついそんな気持ちになりますが、「じぶんでやってみたい」気持ちを受け入れてもらうこと、たとえできなくても意欲を認めてもらうことは自己肯定感につながり、自分を作っていく核になっていきます。大事に守り、育てていきたいですね。



10月うまれのおともだち

おたんじょうびおめでとございます!

